

第4回 千代田区一般廃棄物減量等審議会
 検討テーマ「事業系ごみの削減」 検討事項一覧

委員	議題案	内容	検討資料等
井出委員	コスト（費用）と温室効果ガス排出量の関係について	<p>食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量に関する調査がおこなわれ、消費者庁などが発表しています。今まで温室効果ガス排出の原単位として1より小さな値が使われていましたが、もっと大きな値になりました。事業者は、コスト（費用）と温室効果ガス排出量を気にしています。「ごみ（の重さ）を減らしてください」という呼びかけより、ごみ削減は「コスト削減」と「温室効果ガス排出量削減」につながります、と呼びかけたほうが事業者が自発的に減らそうとすることにつながるかと考え、この資料をご提案しました。</p>	<p>資料 井出7 食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量の推計結果 （MUFG 消費者庁請負事業 食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量に関する調査業務調査報告書 から）</p>
松田委員	「事業系ごみの削減」について	<p>消費者庁：第8回食品ロス削減推進会議で審議され公表された、食品ロス削減目標達成に向けた施策パッケージ（案）（令和5年12月22日）の資料を参考資料として検討することを提案します。 この内容に沿って、現在、関係省庁が今年度内に取りまとめるべく、準備を急ピッチで進めており、年度末の閣議決定を目指し、その後、全国の自治体や関係団体を通じ、事業者、消費者、保健所を管轄する自治体にも通達される予定です。 （参考資料）産・官・学連携で推進する食品ロス削減の取り組みが環境省の「mottECO（モッテコ）導入モデル事業」に採択</p>	<p>資料 松田2 消費者庁 食品ロス削減目標達成に向けた施策パッケージ（案） 資料 松田3 2024年6月3日 日本ホテル（株）プレスリリース</p>

委員	議題案	内容	検討資料等
崎田委員	事業系廃棄物減量に関する検討に際して	<p>以下の内容を検討したいと考えます。</p> <p>■区内の廃棄物の排出量の9割が事業系という現状を考え、積極的な減量対策は重要となる。 「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」を知る（要：資料）京都市HPから 内容だけでなく、現在の実施状況に関しても情報収集を 「事業用大規模建築物減量計画書（1000㎡以上）」の実施状況 「特定食品関連事業者の事業系廃棄物減量計画書（3000㎡以上）」の実施状況</p> <p>■「事業系食品廃棄物ゼロプラン（仮称）」の作成と具体化に向けての検討</p> <p>●食品ロスゼロプランに向けて 防災備蓄食品のローリングストック やフードバンク活用を徹底 レストランでは食べきりメニューの実施、3010運動、mottECO普及、食べきり協力店の普及、食品店ではTABETEなどアプリの活用を呼び掛け、食品ロスゼロ地域を目指す波をつくる。</p> <p>●食品廃棄物ゼロプラン 発生抑制の徹底の上で、排出された食品廃棄物はリサイクル100%をめざせないか。 飼料化、肥料化、バイオマス化の検討</p> <p>■脱使い捨てプラスチックの定着に向けて</p> <p>●カフェやスーパーの使い捨てプラスチック容器の活用の禁止はできないか。 リユース容器を使用して、チェーン店や同業店で返却ができる。 あるいは紙製にして、チェーン店や同業店には必ず回収ボックス設置をしてはどうか。</p> <p>■50kg未満の小規模事業者の事業系ごみに関して</p> <p>●資源の分別回収の徹底のために、商店街で分別回収できるよう、事業者紹介など行政がアドバイスする仕組みはできないか。</p>	資料 崎田2 京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例（しまつのこころ条例）の概要